

平成 30 年度

南海トラフ地震を想定した

西宮市総合防災訓練

午前の部：津波一斉避難訓練（県下一斉）

午後の部：総合防災訓練（実働訓練）

■ 防災展示コーナー（12:00～16:30）

企業等名	展示内容
1 株式会社 ミヨシ	非常食、災害用トイレを中心に災害対策備蓄品の展示
2 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	災害対応自動販売機の案内
3 T H K 株式会社	免震装置を搭載した起震車で”大地震時の免震効果”を体験
4 株式会社 G E O ソリューションズ	ドローン・作業内容（テレビ放映）
5 生活協同組合コープこうべ	（火も水も使わない）災害食の試食 ローリングストックの啓発（対象品展示）
6 N P O 法人 兵庫県防災士会	非常持出し袋重量体験 防災用品、防災備蓄品の展示
7 西宮市民共済生活協同組合	消火器、感震ブレーカー、住宅用火災警報器の展示
8 さくらFM株式会社	緊急告知ラジオの展示
9 森永乳業株式会社	長期保存とうふの試食等
10 西日本電信電話株式会社	災害用伝言ダイヤル（1 7 1）のデモ機での体験
11 大阪ガス株式会社	マイコンメーター等各種地震に対する取り組み
12 兵庫医科大学病院 DMAT 兵庫県立西宮病院 DMAT	DMAT車を2台の車両及び装備の展示と資料展示
13 日本赤十字社兵庫県支部	止血と三角巾を使った傷の手当、骨折固定の仕方
14 国立研究開発法人 防災科学技術研究所	Eーディフェンスの地震被害をVR体験
15 国土交通省 六甲砂防事務所	土石流模型実験装置の実演とパネル展示
16 海上自衛隊 阪神基地隊	ロープワークの体験 防災機材、災害派遣活動状況パネルの展示
17 兵庫県 阪神南県民センター	兵庫県住宅再建共済制度に係るパネル展示
18 西宮警察署	警察車両展示

■ 訓練参加機関（順不同）

陸上自衛隊 第3師団第36普通科連隊／神戸海上保安部 西宮海上保安署／兵庫県消防防災航空隊
阪神南県民センター／兵庫県教育委員会 震災・学校支援チーム（EARTH）／西宮警察署／甲子園警察署
西宮市消防団／社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会／公益財団法人 西宮市国際交流協会
一般社団法人 西宮市医師会／一般社団法人 西宮市薬剤師会／大阪ガス株式会社／西日本電信電話株式会社
関西電力株式会社／一般社団法人 兵庫県LPガス協会 阪神支部／一般社団法人 西宮建設協会
特定非営利活動法人 兵庫県防災士会／兵庫県ドクターヘリ／特定非営利活動法人西宮介護タクシー協会
さくらFM株式会社／株式会社 ベイ・コミュニケーションズ／兵庫県石油商業組合第一協議会
一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 兵庫県支部／生活協同組合コープこうべ
赤帽兵庫県軽自動車運送協同組合／株式会社GEOソリューションズ／5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会
西宮市消防協力隊（社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺病院、J F E スチール株式会社、伊藤ハム株式会社）
グリーン工業株式会社／にしのみや環境サポート協同組合
西宮市聴力言語障害者協会ろうあ部会・西宮手話サークル連絡会
南甲子園五町会連合防災会／今津地区自主防災会／安井町自治会自主防災会
県立西宮今津高等学校／市立南甲子園小学校／西宮市

■ 目的

- 午前の部
津波想定区域内における避難に特化した訓練を実施し、市民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資する。
- 午後の部
市職員個人及び組織での訓練成果の確認の場として、大規模な実働訓練を実施し、他局及び防災関係機関との連携の確認と強化を図る。

■ 訓練想定

- 午前10時00分に南海トラフ地震(M9.0)発生 震度6弱 大津波警報発表
- 地震と津波により、各所で家屋倒壊や火災が多発、負傷者・避難者が続出し被害が拡大中、また、土砂災害や道路の通行障害、ライフライン等に相当の被害が発生

■ 訓練概要

- 午前の部
シェイクアウト訓練（全市域）、避難方法の確認（津波浸水想定区域内）、津波避難訓練（津波浸水想定区域内の学校園、事業所等）
- 午後の部
人命救助、避難所運営、道路啓開、応急給水、トリアージ・広域ヘリ搬送、海上輸送、海上からヘリ救助、地震火災消火訓練等

■ 実施日時

平成 30 年 11 月 5 日(月)

- 午前の部 10:00～11:00
- 午後の部 13:30～16:00 ※気象状況等により訓練を中止、内容を変更する場合があります

■ 実施場所

- 午前の部 全市域及び津波浸水想定区域（概ね鳴尾御影線以南）
- 午後の部 主会場 阪神南広域防災拠点（甲子園浜3丁目）

■ 参加人数

（午後の部）
約1,100人（市200人、関係機関及び市民900人）

■ 訓練のポイント

- 地震津波災害からいのちを守る
（地震津波からの避難方法を学び、自ら考え、行動する意識をもつ）
- 災害への対応力の強化
（各災対局や関係機関、住民団体が日頃の訓練成果を確認し、互いに連携強化を図る）



■ プログラム

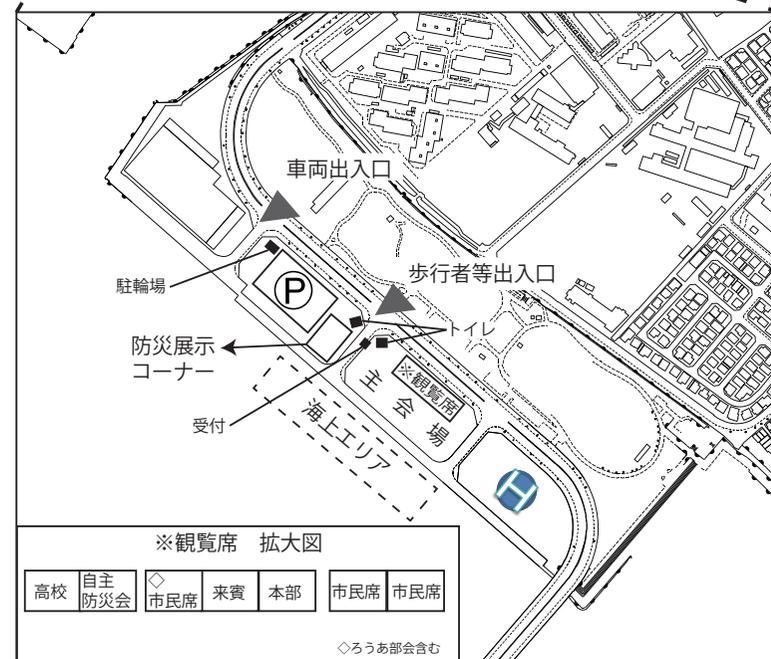
南海トラフ地震津波一斉避難訓練

市民参加	訓練番号・項目	開始/終了時間	主な市災対局名	実施関係機関等	訓練概要
○	1 地震・津波対応訓練	10:00～11:00	全災対局	市民・学校・事業所	シェイクアウト訓練(全市域)、避難方法の確認(津波浸水想定区域内)、津波避難訓練(津波浸水想定区域内の学校園、事業所等)
	2 津波広報情報伝達訓練	10:00～11:00	消防公安局	消防団	広報車巡回
	3 防潮門扉閉鎖訓練	10:00～11:00	第二技術局	-----	防潮門扉閉鎖訓練

西宮市総合防災訓練 ※別会場

○	緊急貯水槽からの給水訓練	10:10～11:00	給水技術局	南甲子園小学校・自主防災会	緊急貯水槽から近隣住民による給水要領の習得
	開会式	13:30～13:35			
○	避難訓練	13:30～14:00	-----	警察・西宮今津高校・南甲子園小学校 自主防災会	学生、地域住民の避難要領の確認
	緊急放送・多言語放送訓練	13:30～16:00	-----	さくらFM・国際交流協会	災害時における緊急放送・多言語放送として、場内アナウンスを行う
①	指揮統制訓練	13:35～15:50	統制局	-----	各災対局の指揮統制及び関係機関への連絡、応援要請等の確認
②	災害記録撮影訓練	13:35～15:50	政策局	ペイコム	災害時の被災状況や避難所状況等の撮影要領の習得
③	情報収集訓練	13:35～13:45	消防公安局	兵庫県消防防災航空隊 GEOソリューションズ	防災ヘリから送信される市内の空中映像を受信し、情報収集要領の確認
○	④ 避難所開設・運営訓練	13:35～14:00	避難局	EARTH、(公財)西宮市国際交流協会 西宮市聴力言語障害者協会らうあ部会 自主防災会、西宮今津高校	避難所の開設や運営にあたり、効率的な方法を検証
○	⑤ 人命救助訓練	13:40～13:55	総務局・市民局・子ども支援局 消防公安局(消防団) 議会担当局、会計局	自主防災会、防災士会、近隣企業 警察、自衛隊、消防協力隊 西宮今津高校、EARTH	倒壊した家屋の要救助者救出要領の習得
○	⑥-1 トリアージ訓練	13:45～15:00	病院局	兵庫県ドクターヘリ	病院へ搬送された負傷者をトリアージし、 院内で処置困難な負傷者を転院(広域搬送)させる。
○	⑥-2 広域搬送訓練	14:20～14:40	消防公安局	西宮今津高校、EARTH	
⑦	空中映像などからの 情報収集訓練	13:45～15:50	統制局	GEOソリューションズ	ドローンなどからによる空中映像及び 会議システムを活用した災害現場状況の情報収集を行う
※	⑧ 甲子園浜浄化センター 津波対応訓練	13:50～14:25	給水技術局	-----	津波浸水により停電となった浄化センターの 機能回復に向けた作業手順の確認 ※甲子園浜浄化センター
○	⑨ 応急給水訓練	13:55～14:25	給水技術局・避難局 消防公安局(消防団)	自主防災会、西宮今津高校、EARTH 西宮市聴力言語障害者協会らうあ部会	他機関と共同で応急給水活動要領を確認
○	⑩ 炊き出し・配膳訓練 食料・燃料供給訓練	14:00～15:30	物資局・避難局	自主防災会、西宮今津高校、EARTH LPG協会、コープこうべ 兵庫県石油商業組合、自衛隊(ご飯)	災害時応援協定事業者から食材と燃料の供給を受け、 自主防災会、ボランティア主体で炊き出しを行う (軽油は、給水中の消防団の車へ補給)
⑪	海上救出訓練	14:00～14:15	消防公安局	海上保安庁 兵庫県消防防災航空隊	津波により、海域に流されている人の救助
○※	⑫ 福祉避難所等 開設・運営訓練	14:00～15:00	福祉局・物資局	社会福祉協議会 西宮介護タクシー協会 市内障害者(施設利用者)	福祉避難所開設・運営の手順等を確認 ※地域共生館ふれぼので実施
○※	⑬ 現地パトロール訓練	14:00～14:40	第一技術・第二技術局 避難局	安井町自治会自主防災会	○防潮門扉閉鎖 ※前浜町(54番) ○土砂災害警戒区域等パトロール ※山口町船坂(土砂災害特別警戒区域) ○避難所の安全確認 ※安井市民館
○	⑭ パケツリレー訓練	14:10～14:20	子ども支援局	南甲子園小学校、EARTH	トイレに使用する水を連携して確保する
○	⑮ 救出・搬送訓練	14:10～14:20	統制局	西宮今津高校	要救助者の救出と搬送方法の習得
○	⑯ 物資搬送・受入訓練	14:20～14:40	物資局・避難局・福祉局	西宮今津高校、5日で5000枚の約束。 赤帽、阪神南泉民センター、防災士会	物資の搬送・受入態勢の一連の流れを確認し、効率的な方法を検証 福祉避難所訓練会場である「地域共生館ふれぼの」へ物資搬送を行う
※	⑰ ボートを活用した 救出訓練	14:20～14:50	消防公安局 (消防団含む)	-----	津波により、住居に取り残され、避難できない住民を救出する ※甲子園浜浄化センター
○	⑱ 土のう作成・設置訓練	14:25～14:40	政策局、市民局 議会担当局、会計局	機能別消防団	土のうを作成・設置し、避難所周辺の道路亀裂を解消する
⑲	海上輸送受入訓練	14:25～14:45	統制局	日本マリナビーチ協会 陸上自衛隊・EARTH	陸上輸送が困難の中、災害時応援協定事業者の船舶によって 海上ルートで物資が輸送され、受け入れを行う
○	⑳ 道路啓開・ 橋台段差処理訓練	14:25～15:15	第一技術局・第二技術局 衛生局	西宮建設協会 にしのみや環境サポート協同組合	橋台の段差修復、道路上の倒壊家屋やガレキ等の撤去方法を確認
○	㉑ 災害用トイレ設置訓練	14:30～15:00	衛生局・避難局	EARTH・西宮今津高校 西宮市聴力言語障害者協会らうあ部会	設置・運用等の一連の流れを確認
○	㉒ 避難所巡回訓練(健康調査)	14:40～15:10	保健医療局・避難局	EARTH・自主防災会 西宮今津高校	保健師による健康調査手順の検証
⑳	ライフライン復旧訓練	14:45～15:05	統制局	大阪ガス・NTT・関西電力	ライフラインの復旧活動要領の確認
○	㉔ 救護所開設・運営訓練	14:50～15:40	保健医療局・病院局	医師会・薬剤師会・EARTH 西宮今津高校	救護所開設・運営等を確認送され、受け入れを行う
⑳	地震トンネル事故対応訓練	15:00～15:15	消防公安局	警察	地震により、トンネルで車両複数台の関係する交通事故が発生し、 その後車両火災に発展する災害の対応
○	㉖ 地震初期消火訓練	15:15～15:30	市民局・子ども支援局 議会担当局	自主防災会・消防協力隊・近隣企業 西宮今津高校	地震後に発生した火災の初期対応(可搬式ポンプ・屋内消火栓・消火器)
㉗	地震火災消火訓練	15:30～15:45	消防公安局 (消防団含む)	海上保安庁	消火栓が使用不能な状況下での迅速な消火活動の実施
	閉会式	15:50～16:00			

■ 訓練会場



■ 交通アクセス

～バスをご利用の方～
 阪神甲子園駅で阪神バス④番乗り場から「浜甲子園行」に乗り、「南甲子園小学校前」または「甲子園浜3丁目」で下車(南へ徒歩約15分)
 ～車をご利用の方～
 会場内に、駐車場を設けております。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



開会式



開会式



①情報収集訓練



③情報収集訓練

災害初期の被害状況を把握することを目的に実施しました。消防防災航空隊から送信される市内の被害映像を消防指揮車が受信し、情報収集要領の確認を行いました。



④避難所開設・運営訓練



④避難所開設・運営訓練

大災害時の避難所を想定し、災対避難局が中心となり、自主防災会やE A R H、県立西宮今津高校、聴覚障害者協会ろうあ部会と協同して避難所運営をおこないました。避難者の受入をイメージするとともに、実際に「避難者受入名簿」を記入してもらうことによって、改善点の有無を検証しました。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



⑤人命救助訓練

地震で発生した倒壊家屋により、負傷者が閉じ込められているとの想定で実施しました。この訓練では、市の人命救助隊、消防団、自主防災会、近隣企業、防災士会、消防協力隊、警察、自衛隊との連携により人命救助と搬送を迅速かつ安全に実施できるかを確認しました。



⑤人命救助訓練



⑥トリアージ訓練

災害時の負傷者受入体制及び受入要領を確認するため当訓練を実施しました。また、院内で処置困難な負傷者を他都市へ広域搬送するため、災対病院局は災対消防公安局と連携しました。



⑥トリアージ訓練



⑨応急給水訓練

市内全域で断水状態になるという想定で実施しました。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、倒壊家屋等からの救出活動が終了した1月20日から約1カ月間、消防団による応急給水活動が実施されました。大規模災害時に備え、災対給水技術局は消防団との協力体制を確認しました。



⑨応急給水訓練

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



⑩炊き出し・配膳訓練

この訓練は、150人分の「カレー」を作りました。

避難者役の県立西宮今津高校生が主体となり、地域の自主防災会とE A R Hが合同で訓練を実施しました。水にあっては、給水車から提供を受け、食材は、コープこうべより、また炊き出しに使用する燃料は、兵庫県LPガス協会の供給を受けました。さらには、ご飯にあっては、自衛隊の炊事車によって炊飯され、それぞれ一体となり訓練を行いました。



⑩炊き出し・配膳



⑪海上救出訓練

この訓練は、津波により市民が海域に流されており、早期に救出する必要があるとの想定で、西宮海上保安署や兵庫県消防防災航空隊、災対消防公安局が連携し救出活動を実施しました。



⑪海上救出訓練



⑭バケツリレー訓練

災害時による断水により、避難所のトイレ用の水を確保するために、離れた水源から市立南甲子園小学校児童がバケツリレーにより水を運びました。



⑭バケツリレー訓練

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



⑮救出・搬送訓練



⑮救出・搬送訓練

南海トラフ地震が発生した場合、建物の全半壊棟数は、1万5,562棟と被害想定されています。そのため、壊れた建物内の人を助けるために、簡易な手法である、毛布で人を引っ張りだし助け、安全な場所に搬送する訓練を実施しました。

この訓練では、県立西宮今津高校生69名がそれぞれ、倒壊している建物3棟（黒い筒）に進入し、救助・搬送技術を体験しました。参加した生徒からは、「もし実際に災害がおきたらリードできるようにしたい。」と話していました。



⑯物資搬送・受入訓練



⑯物資搬送・受入訓練

この訓練は、避難所より物資搬送の依頼を受け、物資を避難所に搬送しました。

現在、西宮市では、民間団体などと物資の供給に関することなど応援協定を結んでおり、災対局（物資局、避難局、福祉局）は、県阪神南県民センターから提供を受けた救援物資等を赤帽や5日で5000枚の約束。と連携し、一連の搬送・受入態勢を確認しました。また、この訓練では、防災士会や県立西宮今津高校生も参加しました。



⑰土のう作成・設置訓練



⑰土のう作成・設置訓練

この訓練は、地震により避難所周辺の道路が陥没しているため物資輸送トラックが進入できないとの想定で、陥没箇所に土のうを積み通行障害を解消しました。災対局（政策局、市民局、議会担当局、会計局）と機能別消防団が道路陥没を解消させ、自衛隊トラックが通過しました。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



⑲海上輸送受入訓練



⑲海上輸送受入訓練

大規模災害時、道路や鉄道が被害を受け、救援物資が届きにくいとの想定で実施しました。このような場合には、船を利用した物資輸送が重要な位置づけとなります。

西宮市では、日本マリーナ・ビーチ協会と応援協定を結び、災害時の救援物資の受入体制の強化を図っております。

今回の訓練では、津波が引いた後、海上輸送のため救援物資を積んだ当協会の船舶が耐震強化岸壁である阪神南防災拠点に着岸し、自衛隊トラックに積み替える作業をE A R Hと共に実施しました。



⑳道路啓開・橋台段差処理訓練



⑳道路啓開・橋台段差処理訓練

この訓練は、地震の揺れにより沿道の家屋が倒壊し道路を塞いでいる、また、道路と橋との間に大きな段差が生じてしまったとの想定で実施しました。



⑳道路啓開・橋台段差処理訓練



⑳道路啓開・橋台段差訓練

災対局（第一・第二技術、衛生局）は、西宮建設協会や環境サポート組合の協力を得ながら、道路を塞いでいる瓦礫の撤去作業を行い、道路と橋との間に生じた大きな段差に土のうを並べて解消させ、車両が通行できるように実施しました。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



②災害用トイレ設置訓練

市では市内の避難所数 140 箇所に各 1 台の割合で災害用トイレの配備ができるよう整備しています。車いすなどでも対応できる災害用トイレを組み立て設置しました。設置には、説明書や工具も使いながら比較的簡単に組み立てることができ、見学もして頂きました。



②③ライフライン復旧訓練

ガス管が破断しているとの想定で大阪ガスがガス復旧訓練を実施しました。警戒区域を設定し、二次災害防止につとめ、ガス管を修理しました。



②③ライフライン復旧訓練

関西電力が停電した病院へ応急送電を行う必要があるとの想定で実施しました。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



㉓ ライフライン復旧訓練

NTT西日本兵庫支店による電話通信設備の応急復旧訓練を実施しました。



㉔ 地震トンネル事故対応訓練

地震により、県道におけるトンネル内を走行していた車両複数台が、交通事故を引き起こしたことを想定し実施しました。

事故車両には、負傷者が閉じ込められまた、火災も発生しているさなか活動の優先度を見極めながら、二次災害防止のため警察と連携し、救出や消火活動をおこないました。



㉕ 地震トンネル事故対応訓練



㉖ 地震初期消火訓練



㉖ 地震初期消火訓練

この訓練は、地域から今津地区自主防災会や南甲子園自治会、近隣企業としてグリーン工業、西宮市消防協力隊として、伊藤ハム株式会社やJFEスチール株式会社、県立西宮今津高校生、災対局（こども支援局、市民局、議会事務局）が参加しました。地震により多発火災が発生したとの想定で、それぞれにある職場や学校、地域にある消火器や屋内消火栓、可搬式消防ポンプを活用して消火活動をおこないました。たとえ災害多数で消防車の到着が遅れても「自分たちの町は自分で守る」精神で、終始真剣に取り組んでいました。

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



㉗地震火災消火訓練



㉗地震火災消火訓練

この訓練は、地震の発生により水道管が破損して消火栓が使用できないとの想定で実施しました。

3日間で41件の火災が発生した阪神・淡路大震災では、発災と同時に市内の消火栓のほとんどが断水し、使用不能の状態になりました。このため、防火水槽、井戸、プール、受水槽、池をはじめ水量の少ない河川などから土のうやビニールシートなどを使用し取水しました。このような教訓を踏まえ、当訓練では西宮海上保安署の巡視船から海水を中継し迅速な消火体制を確認しました。



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー



防災展示コーナー

平成30年度 西宮市総合防災訓練 実施状況



防災展示コーナー



防災展示コーナー



閉会式



閉会式

平成30年度 西宮市総合防災訓練の実施結果を踏まえ様々な課題を抽出し、市の防災力向上に向けて、引き続き取り組んで参ります。